

選挙手続き

California州憲法に基づき、最高裁判所裁判官および控訴裁判所裁判官は、有権者による承認を受けなければなりません。一般有権者は、各裁判官を留任させるかどうかについて「賛成」または「反対」に投票します。

これらの司法職は無党派です。

控訴裁判所裁判官に就任する前に、州知事は、一般市民委員と弁護士から構成される司法候補者評価委員会に候補者の氏名を提出しなければなりません。同委員会は、地域社会からの意見を取り入れながら候補者の経歴と資格を徹底的に審査し、その候補者に対する評価を州知事に送付します。

次に州知事は委員会の評価を検討した上で候補者を正式に指名し、その候補者の資格について一般から意見を受け付けた後、司法任命委員会が審査および検討を行います。その委員会は、California州最高裁判所長官、California州司法長官、および控訴裁判所の最上席の首席裁判官から構成されています。その後、司法任命委員会は、その指名を承認または拒否しなければなりません。承認された場合に限り、被指名者は裁判官となります。

承認後、裁判官は就任宣誓を行い、次の州知事選挙で有権者による承認を受け、その後は各任期の満了時に承認を受けなければなりません。California州憲法で最高裁判所裁判官および控訴裁判所裁判官に定められている任期は12年です。裁判官は、司法任命委員会によって次の州知事選挙までの期間のみ承認され、その時点で、前任者に残りの任期があれば、その4年または8年の任期の留任を問う選挙に臨みます。(選挙法第9083条)

最高裁判所裁判官および控訴裁判所裁判官の詳細については、voterguide.sos.ca.govまたはcourts.ca.govをご覧ください。

最高裁判所裁判官の資格証明書

Kelli M. Evans、California州最高裁判所陪席判事

弁護士資格取得：1994年

学歴：University of California Davis School of Law, J.D., 1994; Stanford University, B.A., 1991.

法曹としての職歴：Gavin Newsom州知事室法務担当主席次長（2019年～2021年）、California州司法省特別司法次長（2017年～2019年）、California州弁護士会司法行政シニアディレクター（2014年～2017年）、米国California北部地区連邦地方裁判所（2003年～2010年）および米国Ohio北部地区連邦地方裁判所（2015年～2017年）、連邦裁判所モニター；Relman & Associates弁護士（2001年～2004年）、米司法省市民権部門シニア法廷弁護士（1998年～2001年）、北California ACLUスタッフ弁護士兼アソシエイトディレクター（1995年～1998年および2010年～2013年）、Sacramento郡副公選弁護人（1995年）、Equal Rights Advocates Ruth Chance訴訟フェロー（1994年～1995年）。

司法としての職歴：California州最高裁判所陪席判事（2023年～現在）、Alameda郡上級裁判所裁判官（2021年～2022年）。

Joshua P. Groban、California州最高裁判所陪席判事

弁護士資格取得：1998年12月

学歴：Harvard Law School, J.D., 1998; Stanford University, A.B., 1995.

法曹としての職歴：New York南部地区連邦地方裁判所William C. Conner判事の法務書記（1998年～1999年）、弁護士（Paul, Weiss, Rifkind, Wharton & Garrison LLP, 1999年～2005年）、弁護士（Munger, Tolles & Olson LLP, 2005年～2010年）、Jerry Brown州知事シニアアドバイザー（2011年～2018年）、UCLA School of Law講師（2014年～2018年）。

司法としての職歴：California州最高裁判所陪席判事（2018年～現在）。